

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容ベーシックA-Ⅰ		
必修選択	必修	(学則表記)	美容ベーシックA-Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	60
使用教材	ワインディング、オールウェーブセッティング、 カッティング、衛生教材一式 改正美容師技術試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナルマニュアル 美容実習技術テキスト		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けて時間内に合格基準を満たす技術を習得する。		
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術を身につける。		
評価基準	テスト30％　小テスト20％　提出物20％　授業態度30％		
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師免許		
関連科目	美容技術理論Ⅰ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	荒井　悦子　　他	実務経験	○
実務内容	美容室勤務歴13年の実務経験を活かし、美容師国家試験合格に向けて合格基準を満たす授業を展開する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ワインディング オールウェーブセッティング カッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） ワインディング オールウェーブセッティング カッティング（レイヤーカット）
2	ワインディング オールウェーブセッティング カッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） ワインディング オールウェーブセッティング カッティング（レイヤーカット）
3	ワインディング オールウェーブセッティング カッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） ワインディング オールウェーブセッティング カッティング（レイヤーカット）
4	ワインディング オールウェーブセッティング カッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） ワインディング オールウェーブセッティング カッティング（レイヤーカット）
5	ワインディング オールウェーブセッティング カッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） ワインディング オールウェーブセッティング カッティング（レイヤーカット） 小テスト

6	ワインディング オールウェーブセッティング カッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） ワインディング オールウェーブセッティング カッティング（レイヤーカット）
7	ワインディング オールウェーブセッティング カッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） ワインディング オールウェーブセッティング カッティング（レイヤーカット）
8	ワインディング オールウェーブセッティング カッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） ワインディング オールウェーブセッティング カッティング（レイヤーカット）
9	ワインディング オールウェーブセッティング カッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） ワインディング オールウェーブセッティング カッティング（レイヤーカット）
10	ワインディング オールウェーブセッティング カッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） ワインディング オールウェーブセッティング カッティング（レイヤーカット）
11	ワインディング オールウェーブセッティング カッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） ワインディング オールウェーブセッティング カッティング（レイヤーカット）
12	ワインディング オールウェーブセッティング カッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） ワインディング オールウェーブセッティング カッティング（レイヤーカット）
13	ワインディング オールウェーブセッティング カッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） ワインディング オールウェーブセッティング カッティング（レイヤーカット）
14	まとめ	全課題まとめ
15	総合授業	前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容ベーシックA-II		
必修選択	必修	(学則表記)	美容ベーシックA-II		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	60
使用教材	ワインディング、オールウェーブセッティング、 カッティング、衛生教材一式 改正美容師技術試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナルマニュアル 美容実習技術テキスト			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けて時間内に合格基準を満たす技術を習得する。		
到達目標	美容師国家試験合格に向けて美容師としての知識や技術を習得する。		
評価基準	テスト30％　小テスト20％　提出物20％　授業態度30％		
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師免許		
関連科目	美容技術理論Ⅰ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	柴田　愛美	実務経験	○
実務内容	美容師歴8年の経験を活かし、就職に向けて必要なスキルが身につくよう授業を展開する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション オリエンテーション	教員紹介、美容総合テクニックで学ぶ内容、授業ルール、成績づけについて
2	美容室での知識①	美容室での日常について
3	美容室での知識②	美容室でのルールについて
4	美容室での知識③	お客様目線でのサロンの見方
5	美容室での知識④	営業での優先順位の確立
6	美容室での知識まとめ	美容室での知識小テスト

7	肩マッサージ①	肩のマッサージ 理論も説明、軽擦法、強擦法、揉捻法
8	肩マッサージ②	肩のマッサージ 理論も説明、軽擦法、強擦法、揉捻法
9	ヘッドマッサージ①	ヘッドマッサージ 理論の説明
10	ヘッドマッサージ②	ヘッドマッサージ 一連の流れを通して実施
11	肩、ヘッドマッサージテスト、 巻き髪	肩、ヘッドマッサージのテスト 巻き髪スタイルづくり
12	自分の好みイメージシート作り	アプリを使ってイメージを共有できるシート制作
13	敬語の使い方	接客での言葉使いについて
14	美容についての雑学	お客様との会話の広げ方
15	まとめ	まとめテスト

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	基礎理論Ⅰ		
必修選択	必修	(学則表記)	基礎理論Ⅰ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	美容研究科	2	30
使用教材	美容技術理論1 美容技術理論2		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	美容師国家試験筆記試験課題の「美容技術理論」に関する正しい知識を身につける。				
到達目標	美容師国家試験筆記試験合格基準を目指す。				
評価基準	テスト30％ 小テスト20％ 提出物20％ 授業態度30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師免許				
関連科目	美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅲ・美容知識Ⅳ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	船橋 光太郎		実務経験	○	
実務内容	美容師として6年勤務した経験を活かし、美容師国家試験の合格に向けて美容技術理論の知識を伝授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	8章 エステティック		エステティックの歴史、範囲、心得、注意点・皮膚の構造・カウンセリングの目的・ エステティックにおけるカウンセリング		
基本手技・フェイシャルの効果、方法・デコルテ、フェイシャルの手順 マッサージにおける手の動かし方と操作ポイント					
3	9章 ネイル技術		ネイルケア、アーティフィシャルネイル、爪の構造と機能、爪のカット形状器具の消毒手順、 テーブルセッティングの一例		
ネイルケアの道具、マニキュア・ペディキュア技術の手順、プレパレーションの手順、 ジェル技術の手順、オフ・ハンドマッサージのポイント					
5	10章 メイクアップ		メイクアップ概論、メイクアップによる立体感、マルセル表色系による色の分類、角度配色・ 皮膚の生理と構造・メイクアップの道具、クレンジング、ファンデーションの目的・選び方、塗り方と順序		
リップの丸みのある描き方、鋭角的な描き方、ブラッシュオンメイクアップ、 まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項、施術の一例					
7	総まとめ		テストを実施する 8章～10章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題		

8	11章 日本髪	日本髪の由来・日本髪の各部の名称・日本髪の種類と特徴・日本髪と調和
9		日本髪の装飾品・日本髪の結髪道具、日本髪の結髪技術、日本髪の手入れ・かつら（かぶせ方、飾り方、付け方、簪の位置、外し方、持ち方、しまい方、手入れ）
10	12章 着付けの理論と技術	着付けの目的・女子礼装、男子礼装、礼装生地、準礼装、心得・着物と季節・着物のいろいろ・帯・小物の種類・着物の各部の名称・着物のたたみ方
11		体型補正、長襦袢の着付け・着物の着付け、帯結び・帯締め結び方の一例、帯揚げの結び方の一例 男子礼装羽織、袴着付け技術
12		羽織のひもの結び方・女子袴着付け技術・美容師自身の身だしなみ 不測の事態に備える、緊張をほぐすための細かい配慮、花嫁の動作に注意する、機敏な動作・和装花嫁・洋装花嫁
13	まとめ	まとめを実施する 11章～12章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
14	解説	まとめの振り返り・解説
15	美容技術理論Ⅱ 総まとめ	美容技術理論Ⅱ 総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	基礎理論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	基礎理論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	30
使用教材	美容技術理論1 美容技術理論2		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	美容師国家試験筆記試験課題の「美容技術理論」に関する正しい知識を身につける。				
到達目標	美容師国家試験筆記試験合格基準を目指す。				
評価基準	テスト30％ 小テスト20％ 提出物20％ 授業態度30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師免許				
関連科目	美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅲ・美容知識Ⅳ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	美容技術理論Ⅰ 序章・1章		美容技術理論を学ぶにあたって・美容道具 重点項目振り返り		
2	美容技術理論Ⅰ 2章・3章		シャンプーイング・ヘアデザイン 重点項目振り返り		
3	美容技術理論Ⅰ 4章・5章		ヘアカッティング・パーマネントウェービング 重点項目振り返り		
4	美容技術理論Ⅰ 6章・7章		ヘアセッティング・ヘアカラーリング 重点項目振り返り		
5	美容技術理論Ⅰ 総まとめ		美容技術理論Ⅰ まとめを行う		
6	対策		美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習		
7	まとめ		まとめを実施する 美容技術理論Ⅰ・Ⅱ の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題		

8		美容師国家試験過去問の演習と解説
9	美容師国家試験の過去問	美容師国家試験過去問の演習と解説
10		美容師国家試験過去問の演習と解説
11		美容師国家試験過去問の演習と解説
11	まとめ	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
12	美容師国家試験の過去問	美容師国家試験過去問の演習と解説
13		美容師国家試験過去問の演習と解説
14		美容師国家試験過去問の演習と解説
15	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅰ - Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容知識Ⅰ - Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	30
使用教材	衛生管理1 衛生管理2			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験筆記試験課題の「衛生管理」に関する正しい知識を身につける。		
到達目標	美容師国家試験筆記試験合格基準を目指す。		
評価基準	テスト30％　小テスト20％　提出物20％　授業態度30％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師免許		
関連科目	美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅲ・美容知識Ⅳ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	西澤　務	実務経験	○
実務内容	美容師として37年の実務経験に基づいて美容師国家試験合格を目指し、衛生管理の正しい知識を伝授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1編 公衆衛生 1章 公衆衛生の概要	美容師免許を所得する上での必要性、取得までの流れ 「公衆衛生の意義と課題」「公衆衛生発展の歴史」「理容師・美容師と公衆衛生」「保健所と理容業・美容業」の復習
2	1編 公衆衛生 2章 保健①	「母子保健」「成人・高齢者保健」①の復習
3	1編 公衆衛生 2章 保健②	「成人・高齢者保健」②「精神保健」の復習
4	1編のまとめ 2編 環境衛生 1章 環境衛生①	単元テストを実施→振り返り・解説 「環境衛生の概要」「空気環境」の復習
5	2編 環境衛生 1章 環境衛生②	「衣服・住居の衛生」「上下水道と廃棄物」の復習
6	2編 環境衛生 2章 環境衛生③	「衛生害虫とネズミ」「環境保全」の復習
7	2編のまとめ 3編 感染症 1章 感染症の総論①	単元テストを実施→振り返り・解説 「人と感染症」の復習

8	3編 感染症 1章 感染症の総論②	「病原微生物」の復習
9	感染症の総論①のまとめ 3編 感染症 1章 感染症の総論③	感染症の総論① 単元テストを実施→振り返り・解説 「感染症の予防」の復習
10	感染症の総論②のまとめ 3編 感染症 2章 感染症の各論①	感染症の総論② 単元テストを実施→振り返り・解説 「空気・飛沫を介して感染する感染症」の復習
11	3編 感染症 2章 感染症の各論②	「飲食物を介して感染する感染症」の復習 「血液等を介して感染する感染症」の復習
12	3編 感染症 2章 感染症の各論③	「動物・節足動物を介して感染する感染症」の復習 「具体的な対策の例」の復習
13	感染症の各論のまとめ 3編の総まとめ	感染症の各論 単元テストを実施→振り返り・解説 3編の総まとめを実施する
14	テスト	テストを実施する
15	総合授業	テストを返却→振り返り・解説

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅰ・Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容知識Ⅰ・Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	30
使用教材	衛生管理1 衛生管理2			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験筆記試験課題の「衛生管理」に関する正しい知識を身につける。				
到達目標	美容師国家試験筆記試験合格基準を目指す。				
評価基準	テスト30% 小テスト20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師免許				
関連科目	美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅲ・美容知識Ⅳ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第4編 衛生管理技術 1章 消毒法総論①	「消毒法とは」「消毒の意義」の復習 「理容・美容の業務と消毒との関係」の復習
2	第4編 衛生管理技術 1章 消毒法総論② 消毒法総論まとめ	「消毒法と適用上の注意」の復習 単元テストを実施→振り返り・解説
3	第4編 衛生管理技術 2章 消毒法各論①	「理学的消毒法・化学的消毒法」の復習 「すぐれた消毒法と実施上の注意」の復習
4	第4編 衛生管理技術 2章 消毒法各論② 消毒法各論まとめ	「理学的消毒法・化学的消毒法の消毒方法」の復習 「すぐれた消毒法と実施上の注意」の復習 単元テストを実施→振り返り・解説
5	第4編 衛生管理技術 3章 消毒法実習①	「各種消毒薬」 (消毒液の概要、器具の使い方、常備しておくとい消毒薬と希釈液の濃度、消毒薬希釈液法)の復習
6	第4編 衛生管理技術 3章 消毒法実習②	「理容所・美容所の消毒の実際」① 「理美容所の清潔法の実際」②
7	消毒法実習まとめ 第5編 衛生管理の実践例 1章 衛生管理要領①	単元テストを実施→振り返り・解説 第1 目的～第4 衛生的取り扱い等①

8	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領②	第1 目的～第4 衛生的取り扱い等② 第5 消毒～第6 自主的管理体制
9	衛生管理の実践例まとめ 4編の総まとめ	単元テストを実施→振り返り・解説 まとめを実施する。振り返り・解説
10	テスト	テストを実施する
11	国試過去問演習①	テストを返却→振り返り・解説 美容師国家試験過去問の演習と解説
12	国試過去問演習②	美容師国家試験過去問の演習と解説
13	国試過去問演習③	美容師国家試験過去問の演習と解説
14	国試過去問演習④	美容師国家試験過去問の演習と解説
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅱ - Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容知識Ⅱ - Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	30
使用教材	保健1 保健2			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験筆記試験課題の「保健領域（2編皮膚科学）」に関する正しい知識を身につける。				
到達目標	美容師国家試験筆記試験合格基準に到達する知識力の習得を目指す。				
評価基準	テスト50% 小テスト50%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師免許				
関連科目	基礎理論・美容知識Ⅰ・美容知識Ⅲ・美容知識Ⅳ				
備考	原則、この授業は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	大田 将以			実務経験	○
実務内容	生命科学の研究者として6年、薬剤師として1年、美容・医療・バイオテクノロジー分野の専門学校及び大学の講師として12年の勤務経験を活かし、美容師国家試験合格を目指し保健領域の知識を伝授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	人体の構造および機能の復習（第1章～2章）	頭部・顔部・頸部の体表解剖学、骨格器系の演習（国家試験過去問題）と解説
2	人体の構造および機能の復習（第3章～4章）	筋系、神経系の演習（国家試験過去問題）と解説
3	人体の構造および機能の復習（第5章～7章）	感覚器、血液、循環器系の演習（国家試験過去問題）と解説
4	人体の構造および機能の復習（第8章～9章）	呼吸器系、消化器系の演習（国家試験過去問題）と解説
5	皮膚科学（第1章）	皮膚の構造
6	皮膚科学（第2章）	皮膚付属機関の構造 1項 毛
7	皮膚科学（第2章～3章）	皮膚附属器官の構造 2項脂腺 3項汗腺 4項爪 皮膚の循環器系と神経系

8	皮膚科学（第4章）	皮膚と付属器官の生理機能
9	総まとめ	テストを実施する
10	皮膚科学（第5章）	皮膚と皮膚付属器官の保健
11	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患 1項 皮膚の異常と病態 2項皮膚炎・湿疹・3項 蕁麻疹・4項 薬疹 5項 口唇の疾患
12	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患 6項温熱・寒冷による皮膚障害 7項角化異常による皮膚疾患 8項 色素異常による皮膚疾患 9項 血管腫 10項 脂腺母斑 11項 下肢静脈瘤 12項 分泌異常による皮膚疾患
13	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患 13項 化膿菌による皮膚疾患 14項ウイルスによる皮膚疾患 15項 真菌による皮膚疾患 16項 衛生害虫による皮膚疾患 17項 感染症の皮膚予防 18項 毛と爪の疾患 19項 皮膚の腫瘍
14	総まとめ	テストを実施する
15	解説 皮膚科学（第6章）	振り返り・テスト解説

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅱ - Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容知識Ⅱ - Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	30
使用教材	保健1 保健2			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験筆記試験課題の「保健領域（2編皮膚科学）」に関する正しい知識を身につける。				
到達目標	美容師国家試験筆記試験合格基準に到達する知識力の習得を目指す。				
評価基準	テスト30% 小テスト20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師免許				
関連科目	基礎理論・美容知識Ⅰ・美容知識Ⅲ・美容知識Ⅳ				
備考	原則、この授業は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	皮膚科学の復習（第1～2章）	皮膚の構造と皮膚の付属器官の構造の演習と解説
2	皮膚科学の復習（第2章～4章）	皮膚の付属器官の構造と循環器系と神経系の演習と解説
3	皮膚科学の復習（第5章）	皮膚と付属器官の保健の演習と解説
4	皮膚科学の復習（第6章）	皮膚と付属器官の疾患の演習と解説
5	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
6	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
7	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
8	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習

9	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
10	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
11	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
12	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
13	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
14	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
15	国家試験対策	国家試験前重要ポイント復習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅲ - Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容知識Ⅲ - Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	30
使用教材	香粧品化学1 香粧品化学2			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容器具や香粧品等に関する化学的知識を通し、美容を適切に行う能力と姿勢を身につける。 「美容技術理論」及び「美容実習」と関連させながら、実地的な知識を習得する。				
到達目標	美容の香粧品化学・美容機器・香粧品の適正な取扱いができるように、化学の基本原理や応用を理解する。				
評価基準	テスト50% 小テスト30% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師免許				
関連科目	基礎理論・美容知識Ⅰ・美容知識Ⅲ・美容知識Ⅳ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	鶴嶋 信一郎 他			実務経験	○
実務内容	10年間のサロンワークと国内外でのヘアメイクを経験し、現在は化粧品メーカーで商品開発に従事している経験を基に、香粧品科学や美容機器等の適切な取り扱いができるよう教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1編 第1章：香粧品総論 第2章：香粧品を使用する際に気を付けること	香粧品の社会的意義を踏まえ、その有効性と安全性を確保するための国による規制やメーカーの対応など 使用する際の注意、その他
2	第3章：香粧品の成り立ち 「水と親水性溶媒」	溶質と溶媒、有機・無機化合物、アルコールの種類と特徴のまとめ
3	第3章：香粧品の成り立ち 「油性原料」「界面活性剤」	油性原料（油脂、ロウ類、炭化水素、高級脂肪酸、高級アルコール、シリコーン油など） 界面活性剤の種類と性質
4	第3章：香粧品の成り立ち 「高分子化合物」「色材」	高分子化合物（天然・半合成・合成） 色材（無機顔料・タール色素など）
5	まとめ総合および中間試験	1～4回までの総復習および中間試験
6	第3章：香粧品の成り立ち 「天然色素」「香料」「配合原料」	天然色素、香料、配合原料（防腐剤・紫外線吸収剤・酸化防止剤・収れん剤など）合成樹脂など
7	第2編 第1章：スキンケア製品①	クレンジング用香粧品・コンディショニング用香粧品（クリーム・乳液を含む）とエモリエント剤の復習
8	第2編 第1章：スキンケア製品②	トリートメント用香粧品・サンケア製品・美白用香粧品・ニキビ用香粧品・打粉類・パック剤

9	第2編 第2章：メイクアップ製品	ベースメイクアップ製品、アイメイクアップ製品、まつ毛ケア製品、ネイルメイクアップ製品
10	第2編 第3章： ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品①	ヘアクレンジング用化粧品、ヘアコンディショニング用化粧品、ヘアスタイリング料・総復習
11	第2編 第3章： ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品②	パーマ剤（パーマの原理、分類など）
12	第2編 第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品③	ヘアカラー製品・スカルプケア製品
13	まとめ総合および期末試験	6回から12回までの総復習および期末試験
14	試験解説および総復習	期末試験の解説および総復習
15	前期総まとめ	前期総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅲ - Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容知識Ⅲ - Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	30
使用教材	香粧品化学1 香粧品化学2			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容器具や香粧品等に関する化学的知識を通し、美容を適切に行う能力と姿勢を身につける。 「美容技術理論」及び「美容実習」と関連させながら、実地的な知識を習得する。				
到達目標	美容の香粧品化学・美容機器・香粧品の適正な取扱いができるように、化学の基本原理や応用を理解する。				
評価基準	テスト50% 小テスト30% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師免許				
関連科目	基礎理論・美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅳ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期内容確認	前期で学習した内容を総復習しながら、不十分な範囲などを補足する。
2	化学範囲補充	教科書化学範囲（関連事項）について補足授業
3	香粧品化学総合①	香粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
4	香粧品化学総合②	香粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
5	香粧品化学総合③	香粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
6	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
7	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
8	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説

9	まとめ総合および期末試験	期末試験（全範囲）
10	試験解説および総復習	期末試験の解説および総復習
11	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
12	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
13	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
14	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
15	国家試験対策	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅳ - Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容知識Ⅳ - Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	15
使用教材	関係法規・制度1 関係法規・制度2（美容）		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容の業に対する美容師法による規制と、行政による指導監督制度、およびその他の美容の業の関連法規に関する知識を習得する。		
到達目標	美容業に関する関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を習得し、美容師国家試験筆記試験「関係法規」の合格基準を目指す。		
評価基準	テスト（小テスト等含む）75％　授業態度（提出物等含む）25％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師免許		
関連科目	基礎理論・美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅲ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	水下　翔太	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション 第1章・第2章の復習	国家試験における関係法規の出題数や傾向の説明 成績・評価の説明 第1章・第2章の復習
2	第3章の復習	第3章1節～3節「美容師になるまで」の復習
3	第3章の復習	第3章3節「美容師に求められる義務」～「管理美容師」の復習
4	第3章 理容師法・美容師法 第4節	美容所の開設に必要な届出・検査
5	第3章 理容師法・美容師法 第4節	開設者が求められる義務および美容所以外での業務
6	第3章 理容師法・美容師法 第5節	立入検査と環境衛生監視員
7	まとめ	まとめを行う
8	解説・まとめ	振り返り・解説

9	第3章 理容師法・美容師法 第6節	違反者に対する行政処分
10	第3章 理容師法・美容師法 第7節	違反者に対する罰則
11	第4章 関連法規	美容業の衛生に関する関連法規
12	第4章 関連法規	美容業の振興に関する関連法規
13	第4章 関連法規	美容業の雇用、消費者保護に関する関連法規
14	まとめ	まとめを行う
15	解説・総まとめ	振り返り・解説

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅳ - Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容知識Ⅳ - Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	15
使用教材	関係法規・制度1 関係法規・制度2（美容）		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容の業に対する美容師法による規制と、行政による指導監督制度、およびその他の美容の業の関連法規に関する知識を習得する。		
到達目標	美容業に関する関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を習得し、美容師国家試験筆記試験「関係法規」の合格基準を目指す。		
評価基準	テスト（小テスト等含む）75％　授業態度（提出物等含む）25％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師免許		
関連科目	基礎理論・美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅲ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員		実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1章 第2章の復習	ワークブックを用いて問題演習
2	第3章の復習(1)	ワークブックを用いて問題演習
3	第3章の復習(2)	ワークブックを用いて問題演習
4	第3章の復習(3)・第4章の復習(1)	ワークブックや国家試験を用いて問題演習
5	第4章の復習(2)	ワークブックや国家試験を用いて問題演習
6	まとめ	まとめを行う
7	解説・まとめ	振り返り・解説

8	総復習(1)	国家試験過去問演習等
9	総復習(2)	国家試験過去問演習等
10	総復習(3)	国家試験過去問演習等
11	総復習(4)	国家試験過去問演習等
12	総復習(5)	国家試験過去問演習等
13	まとめ	まとめを行う
14	解説・まとめ	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コンテストヘアⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストヘアⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	30
使用教材	ヘア道具（私物も使用可） 携帯電話			出版社	—

科目の基礎情報②

授業のねらい	コンテストヘア/コンテストメイクに向けてデザイン性の高いヘアメイクの作り方を学ぶ。				
到達目標	授業内コンテストを行い、コンテストでのヘアメイクの作成方法を習得する。				
評価基準	テスト50% 提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	—				
関連科目	美容総合テクニックⅠ・美容総合テクニックⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	宗形 莉子 他			実務経験	○
実務内容	ヘアメイク事務所に所属し、ヘアメイクアップアーティストとして活躍する経験を基に、様々なヘアメイクを作成できるよう教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ヘアチェック	ストレート・巻き・ビニング・ポニー・ホットカーラー
2	アイドルヘアメイク	日本のアイドルヘアメイク
3	スモーキーアイメイク・タイトヘア	スモーキーアイメイク、タイトヘア
4	カットクリース・カールベースヘア	カットクリース・カールベースヘア
5	式典ヘアメイク	卒業式・成人式ヘアメイク
6	ナチュラルヘアメイク	雑誌・広告など作り込まないヘアメイク
7	クリエイティブメイク①	ビニング復習・ポニー復習 テーマに沿ったメイク 相モデル
8	クリエイティブメイク②	ビニング復習・ポニー復習 テーマに沿ったメイク 相モデル

9	クリエイティブメイク③	ビニング復習・ボニー復習 テーマに沿ったメイク 相モデル
10	ウィッグクリティブ	ウィッグクリティブ練習
11	ウィッグクリティブコンテスト	授業内コンテスト
12	デザインシート作成・練習	テーマに則したヘアメイクを考える
13	作品作成（相モデル1組目）	ヘアメイク・ファッションまで授業内コンテスト撮影
14	作品作成（相モデル2組目）	ヘアメイク・ファッションまで授業内コンテスト撮影
15	まとめ	授業内コンテスト発表

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コンテストヘアⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストヘアⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	30
使用教材	ウィッグ クランプ ダックカール ブラシ類 アイロン ホットカーラー 美容技術理論 1, 2			出版社	ー

科目の基礎情報②

授業のねらい	ヘア&メイクのトータルコーディネートを学び、個々の創造力を豊かにする。				
到達目標	各技術の基礎を身につける。				
評価基準	実技試験30% 筆記試験30% 小テスト20% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	ー				
関連科目	美容総合テクニックⅠ・美容総合テクニックⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	カット(ヘアアレンジ)	シャギーレイヤー・テーマに合わせたヘアアレンジ
2	カット	ショートベーシック
3	パーマ	ツイストパーマ スパイラルパーマ
4	カラー	ブリーチバレイヤージュ
5	カラー	ブリーチオンカラー
6	卒業制作ウィッグ作成	ウィッグ作成(試し切り)
7	卒業制作ウィッグ作成	ウィッグ作成(カット・カラー・パーマ)
8	卒業制作ウィッグ作成	ウィッグ作成(カット・カラー・パーマ)

9	卒業制作ウィッグ作成	ウィッグ作成（カット・カラー・パーマ）
10	ブロー	ハンドブロー・テストに向けての練習
11	ブロー・テスト	ブロー仕上げテクニック・テスト
12	ヘアアレンジ・テスト	ブローテスト・テーマに合わせたヘアアレンジ
13	アレンジ	結婚式に合うアレンジ
14	アレンジ	結婚式に合うアレンジ
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コンテストメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストメイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	30
使用教材	メイク道具（私物も使用可） 携帯電話		出版社	—	

科目の基礎情報②

授業のねらい	コンテストヘア/コンテストメイクに向けてデザイン性の高いヘアメイクの作り方を学ぶ。				
到達目標	授業内コンテストを行い、コンテストでのヘアメイクの作成方法を習得する。				
評価基準	テスト50% 提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	—				
関連科目	美容総合テクニックⅠ・美容総合テクニックⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	宗形 莉子 他			実務経験	○
実務内容	ヘアメイク事務所に所属し、ヘアメイクアップアーティストとして活躍する経験を基に、様々なヘアメイクを作成できるよう教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ヘアチェック	ストレート・巻き・ビニング・ポニー・ホットカーラー
2	アイドルヘアメイク	日本のアイドルヘアメイク
3	スモーキーアイメイク・タイトヘア	スモーキーアイメイク、タイトヘア
4	カットクリース・カールベースヘア	カットクリース・カールベースヘア
5	式典ヘアメイク	卒業式・成人式ヘアメイク
6	ナチュラルヘアメイク	雑誌・広告など作り込まないヘアメイク
7	クリエイティブメイク①	ビニング復習・ポニー復習 テーマに沿ったメイク 相モデル
8	クリエイティブメイク②	ビニング復習・ポニー復習 テーマに沿ったメイク 相モデル

9	クリエイティブメイク③	ビニング復習・ボニー復習 テーマに沿ったメイク 相モデル
10	ウィッグクリティブ	ウィッグクリティブ練習
11	ウィッグクリティブコンテスト	授業内コンテスト
12	デザインシート作成・練習	テーマに則したヘアメイクを考える
13	作品作成（相モデル1組目）	ヘアメイク・ファッションまで授業内コンテスト撮影
14	作品作成（相モデル2組目）	ヘアメイク・ファッションまで授業内コンテスト撮影
15	まとめ	授業内コンテスト発表

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コンテストメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	30
使用教材	メイク道具一式			出版社	—

科目の基礎情報②

授業のねらい	コンテストを意識し、提案力を高め、メイクアップ技術を現場を意識して実践することができる。				
到達目標	メイクの基礎知識・基礎技術を理解し、テーマに合わせたフルメイクができる。				
評価基準	実技試験50% 提出物30% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	—				
関連科目	—				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	白塗り・フルメイク	説明・デモ・デッサンシート作成・実践 テーマに合わせたフルメイク デッサンシート作成 (25回まで)
2	白塗り	相モデル実習
3	白塗り	相モデル実習
4	模写メイク (傷メイク含)	説明・デモ・デッサンシート作成・実践
5	模写メイク (傷メイク含)	相モデル実習
6	アニマルメイク	説明・デッサンシート作成・実践
7	アニマルメイク	相モデル実習
8	トレンドメイク	説明・デモデッサンシート作成

9	トレンドメイク	相モデル実習
10	テスト	相モデル実習・テストに向けての練習
11	テスト	相モデル実習・テスト
12	作品制作（フルメイク）	テーマに合わせたフルメイク デッサンシート作成 グループ分け・デッサンシート作成＊3人1グループとなり担当制で施術＊ヘアメイク同時進行
13	作品制作（フルメイク）	
14	作品制作（フルメイク）	
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容総合テクニックⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容総合テクニックⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	30
使用教材	ワインディング、オールウェーブセッティング、 カッティング、衛生教材一式 改正美容師技術試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナルマニュアル 美容実習技術テキスト			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けて時間内に合格基準を満たす技術を習得する。				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術を身につける。				
評価基準	テスト30% 小テスト20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師免許				
関連科目	美容技術理論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	荒井 悦子 他			実務経験	○
実務内容	美容室勤務歴13年の実務経験を活かし、美容師国家試験合格に向けて合格基準を満たす授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ワインディング オールウェーブセッティング カッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） ワインディング オールウェーブセッティング カッティング（レイヤーカット）
2	ワインディング オールウェーブセッティング カッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） ワインディング オールウェーブセッティング カッティング（レイヤーカット）
3	ワインディング オールウェーブセッティング カッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） ワインディング オールウェーブセッティング カッティング（レイヤーカット）
4	ワインディング オールウェーブセッティング カッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） ワインディング オールウェーブセッティング カッティング（レイヤーカット）
5	ワインディング オールウェーブセッティング カッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） ワインディング オールウェーブセッティング カッティング（レイヤーカット） 小テスト

6	ワインディング オールウェーブセッティング カッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） ワインディング オールウェーブセッティング カッティング（レイヤーカット）
7	ワインディング オールウェーブセッティング カッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） ワインディング オールウェーブセッティング カッティング（レイヤーカット）
8	ワインディング オールウェーブセッティング カッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） ワインディング オールウェーブセッティング カッティング（レイヤーカット）
9	ワインディング オールウェーブセッティング カッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） ワインディング オールウェーブセッティング カッティング（レイヤーカット）
10	ワインディング オールウェーブセッティング カッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） ワインディング オールウェーブセッティング カッティング（レイヤーカット）
11	ワインディング オールウェーブセッティング カッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） ワインディング オールウェーブセッティング カッティング（レイヤーカット）
12	ワインディング オールウェーブセッティング カッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） ワインディング オールウェーブセッティング カッティング（レイヤーカット）
13	ワインディング オールウェーブセッティング カッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） ワインディング オールウェーブセッティング カッティング（レイヤーカット）
14	まとめ	全課題まとめ
15	総合授業	前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容総合テクニックⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容総合テクニックⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	30
使用教材	ワインディング、オールウェーブセッティング、 カッティング、衛生教材一式 改正美容師技術試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナルマニュアル 美容実習技術テキスト			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けて時間内に合格基準を満たす技術を習得する。				
到達目標	美容師国家試験合格に向けて美容師としての知識や技術を習得する。				
評価基準	テスト30% 小テスト20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師免許				
関連科目	美容技術理論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション オリエンテーション	教員紹介、美容総合テクニックで学ぶ内容、授業ルール、成績づけについて
2	美容室での知識❶	美容室での日常について
3	美容室での知識❷	美容室でのルールについて
4	美容室での知識❸	お客様目線でのサロンの見方
5	美容室での知識❹	営業での優先順位の確立
6	美容室での知識まとめ	美容室での知識小テスト

7	肩マッサージ❶	肩のマッサージ 理論も説明、軽擦法、強擦法、揉捻法
8	肩マッサージ❷	肩のマッサージ 理論も説明、軽擦法、強擦法、揉捻法
9	ヘッドマッサージ❶	ヘッドマッサージ 理論の説明
10	ヘッドマッサージ❷	ヘッドマッサージ 一連の流れを通して実施
11	肩、ヘッドマッサージテスト、 巻き髪	肩、ヘッドマッサージのテスト 巻き髪スタイルづくり
12	自分の好みイメージシート作り	アプリを使ってイメージを共有できるシート制作
13	敬語の使い方	接客での言葉使いについて
14	美容についての雑学	お客様との会話の広げ方
15	まとめ	まとめテスト

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロアクティブⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	プロアクティブⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	60
使用教材	まつ毛エクステンション教材一式			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	まつ毛エクステンションの理論、眼の周りの病気、禁忌、薬剤の使い方、装着の仕方を学び、実践に慣れる。				
到達目標	ABEまつ毛エクステンション検定アシスタントディレクターを取得する。				
評価基準	テスト30% 小テスト20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師免許				
関連科目	—				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	東間 浩子			実務経験	○
実務内容	アイラッシュ&アイブロウサロンに2年勤務したアイラッシュエクステンションディレクターとして、まつ毛エクステンションの技術が現場で活かせるよう、実践的な知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 道具確認、ワゴンセッティング	授業の流れとルール説明、道具確認とワゴンセッティング
2	概論、用具 まつ毛エクステンション実習①	まつ毛エクステンションの概論と用具の説明、用具の消毒と手指消毒、ツイザーの持ち方、まつ毛のかき分け方
3	衛生管理 まつ毛エクステンション実習②	衛生管理、グルーの取り扱いと使用方法と紙でのまつ毛エクステンションの装着
4	保健（皮膚とまつ毛） まつ毛エクステンション実習③	皮膚とまつ毛の構造と病気、Jカールの装着
5	保健（眼） まつ毛エクステンション実習④	眼の構造と病気、Cカールの装着
6	テーピング リムービングの使い方と技術	テーピングとリムービングの使用法
7	カウンセリング まつ毛エクステンション実習⑤	カウンセリング、アフターケアの説明、装着復習
8	小まとめ タイムトライアル①	復習テスト、検定試験実技の流れ

9	タイムトライアル②	タイムトライアル
10	タイムトライアル③	タイムトライアル
11	小まとめ タイムトライアル④	タイムトライアル
12	前期末まとめ	前期末まとめ
13	検定試験対策①	検定試験実技の対策
14	検定試験対策②	検定試験実技の対策
15	検定試験対策③、検定試験前準備	検定試験実技の対策と検定試験実技の前準備

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	プロアクティブⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	プロアクティブⅡ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	美容研究科		45
使用教材	まつ毛エクステンション教材一式		出版社		
科目の基礎情報②					
授業のねらい	美容師国家試験合格に向けて時間内に合格基準を満たす技術を習得する。				
到達目標	美容師国家試験合格に向けて美容師としての知識や技術を習得する。				
評価基準	テスト30%　小テスト20%　提出物20%　授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師免許				
関連科目	美容技術理論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	総合学習				
2	国家試験第二課題	国家試験課題　タイム測定			
3	国家試験第二課題	国家試験課題　タイム測定			
4	国家試験第二課題	国家試験課題　タイム測定			
5	国家試験第二課題	国家試験課題　タイム測定			
6	国家試験第二課題	国家試験課題　タイム測定			
7	国家試験第二課題	国家試験課題　タイム測定			
8	国家試験第二課題	国家試験課題　タイム測定			

9	国家試験第二課題	国家試験課題 タイム測定
10	国家試験第二課題	国家試験課題 タイム測定
11	国家試験第二課題	国家試験課題 タイム測定
12	国家試験第二課題	国家試験課題 タイム測定
13	国家試験第二課題	国家試験課題 タイム測定
14	国家試験第二課題	国家試験課題 タイム測定
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	15
使用教材	ジョブ・シート			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	社会人としての自覚を持ち、社会のマナーやルールを学び、内定合格に繋げる。				
到達目標	社会のマナーやルールを理解し、自分にあった就職先を見つける。				
評価基準	テスト50% 提出物30% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	—				
関連科目	—				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	長岡 みどり 他			実務経験	○
実務内容	美容師として11年勤務し、ガールズコレクションなどのヘアメイク業務も担当した経験を活かし、実践的なシャンプー・カット・カラー技術を伝授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職活動に関して	ルールの再確認、特別活動届の書き方を学ぶ
2	お礼状の書き方	サロン訪問や内定先へのお礼状の書き方を学ぶ
3	電話、メール指導	就職先への電話のかけ方、メールの送り方について再度学ぶ
4	面接練習①	面接の入室、退室のルール確認をグループごとに行う
5	面接練習②	志望動機や自己PRをグループごとに練習
6		
7	企業への質問を考える	・ジョブ・カード「キャリア・プラン作成補助シート 企業へ質問してみましょう」を使用 ・自分が希望する就職先への質問事項を考える ・自身が考えた企業への質問をグループ内で発表、共有、ディスカッション
8		

9	社会人基礎力を学ぶ	ジョブ・カード「キャリア・プラン作成補助シート 社会人基礎力を試してみよう」を使用
10	グループディスカッション	グループディスカッションについて学び、グループで実践する
11		
12	試験対策	ことわざや四字熟語、漢字、計算などの筆記試験対策を行う
13		
14	実践	実践小まとめ実施
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	15
使用教材	ジョブ・シート			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	社会人としての自覚を持ち、社会のマナーやルールを学び、内定合格に繋げる。				
到達目標	社会のマナーやルールを理解し、自分にあった就職先を見つける。				
評価基準	テスト50% 提出物30% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	—				
関連科目	—				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職に向けての意識付け	・就職未内定者に関しては、就職スケジュールを立てていく ・就職内定者に関しては、企業に入社するに当たり、どのように今後の学校生活を過ごしていくべきか、目標の設定を行う。
2		
3		
4	社会人基礎力	・一般常識、マナーを学ぶ ・社会に出るにあたって必要となる一般的な漢字の読み書き、計算等を学ぶ ・言葉遣いや立ち居振る舞いを学ぶ
5		
6		
7		
8		

9	社会保険や年金に関して	保険や年金の制度に関して学ぶ
10	接客ロールプレイング	・人前で話す事に慣れる為、1分間スピーチの実施 ・お客様とのアイスブレイク練習 ・接客のロールプレイングを実施し、良い接客をする為の練習を行う
11		
12		
13		
14	実践	実践小まとめ実施
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容ベーシックB		
必修選択	選択	(学則表記)	美容ベーシックB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	3	90
使用教材	ワインディングまたはオールウェーブ教材一式 カッティング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験 実技試験合格に向け、試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する。				
到達目標	美容師国家試験 第1課題・第2課題・国家試験衛生合格レベルを習得する。				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師免許				
関連科目	美容技術理論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
2	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
3	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
4	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
5	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
6	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
7	国家試験第1課題・第2課題 まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 まとめを実施する

8	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
9	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
13	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
14	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
15	国家試験第1課題・第2課題 総まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅴ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容知識Ⅴ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	15
使用教材	教科書 ノート			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容経営者として活躍する上で必要とする知識の基礎を理解する。 美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。		
到達目標	自らの生活の中から知識や理論を深めることができる。 美容師国家試験筆記試験に向けて適切な記述ができる。		
評価基準	テスト50％　小テスト30％　授業態度20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師免許		
関連科目	基礎理論・美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅲ・美容知識Ⅳ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	西澤　務	実務経験	○
実務内容	美容師として38年の実務経験に基づき、国家試験合格へ向けて美容技術理論の流れを教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1編 経営者の視点	経営を定義、経営の必要性を教える 第1節理容業・美容業の発生第2節江戸時代の理容業・美容業 第3節近代の理容業・美容業第4節現代の理容業・美容業 第1章小テスト
2		経営戦略とは何か 縄文・弥生・古墳時代の髪型・化粧・服装について 古代の髪型・化粧・服装について
3		中世・近世Ⅰの髪型・化粧・服装について 江戸時代の髪型について
4		会計の意味や考え方、コスト管理 各税金と、従業員に対する労務管理の基本を教える 江戸時代化粧・服装について日本髪 髪型・服装・日本髪小テスト

5	第2編	給与、待遇と福利厚生について教える 明治の髪型・服装・化粧について 大正、昭和の髪型・服装・化粧について
6	人という資源 従業員としての視点	美容業の健康課題、社会人の責任を教える 各種社会保険について教える(1) 1960～1970年代の髪型・化粧・服装について
7	まとめ 振り返り	授業習得度の確認、テスト回答＆解説 1980～2000年代の髪型・化粧・服装について 総まとめを行う
8	第2編 人という資源 従業員としての視点	キャリアプランを組立てる重要性、サービスデザインについて教える 古代エジプト・ギリシャ・ローマ・ゲルマンの髪型、化粧、服装について 中世ヨーロッパ、16世紀の髪型・化粧・服装について
9	第3編 顧客のために	価値の構造、顧客満足、システムについて教える 人の価値と顧客の価値の多様性について教える 16世紀～18世紀の髪型・化粧・服装について
10		サービスの範囲、美容病のマーケティングの特徴と要点を教える 18世紀、19世紀の髪型・化粧・服装について 近世Ⅰ～近代小テスト 1910～1940の髪型・化粧・服装について
11		マーケティングミックスの長期的要因について教える 194～1960の髪型・化粧・服装について 1970の髪型・化粧・服装について
12		サービスのシステム化と接客について教える 1980の髪型・化粧・服装について 1990～2010年代の髪型・服装・化粧について
13		接客の実践について教える 和装の礼装について
14		接客トラブルの対応、クレームや事故への対策・対処方法について教える
15	総まとめ	後期授業内容の習得度の確認